

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



登録医の皆さんと共に

特集

令和5年度第1回（通算51回）

開放型病院連絡会が開催されました

- VOICE
- 医学シリーズ 耳鼻いんこう科
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明



096-353-6565 096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター
National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター 検索 ホームページ QR コード

令和5年度 第1回（通算51回） 開放型病院連絡会が開催されました



熊本医療センター
高橋 毅 院長



熊本市医師会会長
園田 寛 先生



熊本市歯科医師会会長
渡辺 猛士 先生

令和5年度第1回（通算51回）国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会を、9月11日（月）午後7時より、ホテル日航熊本（5階阿蘇の間）にて開催いたしました。当日は登録医の先生方及び地域医療連携ご担当の皆様ほか212名の方々にご出席いただき、院内スタッフ131名の総勢343名の方々にご参加いただきました。

令和2年度、令和4年度は新型コロナウイルス感染症により開催できず、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小しての開催となりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行して一段落したのを受け、数年ぶりに従来の規模に戻して開催いたしました。

開会にあたり、高橋院長より挨拶があり、続いて熊本市医師会会長の園田寛先生よりご挨拶をいただき、その後熊本市医師会理事の緒方一朗先生と当院日高副院長の司会で総会が始まりました。

総会では、河北血液内科部長による「急性白血病治療の最前線」、前田泌尿器科副部長による「前立腺がんの診断・最新の進歩～MRI-TRUS融合画像ガイド下前立腺生検の現状と展望～」の情報提供がありました。この後、菊川地域医療連携センター長による「地域医療連携室からのお知らせ」、富高副地域医療連携センター長による「紹介予約センターからのお知らせ」と続き、最後に熊本市歯科医師会会長の渡辺猛士先生からご挨拶をいただき、宮成副院長の閉会の挨拶を以て総会を終了いたしました。

総会終了後は、会場を隣に移して意見交換会が行われました。総会に引き続き、熊本市医師会会長 園田寛先生によるご挨拶及び乾杯のご発声で意見交換会が始まりました。診療科ごとに設置されたテーブルを囲んで、終始和やかな雰囲気の中で意見交換が行われました。途中、当院の幹部一同がステージに上がり、高橋院長が一人一人を紹介させていただきました。続いて、各診療科部長（医長）一同がステージに上がり、日高副院長より紹介いたしました。その後、副看護部長、看護師長一同がステージに上がり、安藤副看護部長より紹介いたしました。最後に熊本市医師会副会長の田中英一先生のご挨拶で盛況のうちに無事終了となりました。

ご参加いただいた皆様におかれましては、お忙しい中誠にありがとうございます。また、今回出席されなかった皆様には次回の参加をお待ちしております。この会が当院との連携を一層深め地域医療を益々発展させる機会となれば幸いです。

庶務班長
佐野 浩史



幹部職員の紹介



各診療科部長の紹介



副看護部長・看護師長の紹介



医療法人清和会
水前寺とうや病院

院長 いまむら しげひろ
今村 重洋



◆貴院のアピールをお願いします

水前寺とうや病院は水前寺公園近くに位置し、地域包括ケアシステムの中で機能回復や在宅復帰を支援していく病院です。病床数 142 床は地域包括ケア病棟（1）、障害者一般病棟、回復期リハ病棟（1）の 3 病棟で運用されています。伝統的に多職種が家庭的な絆でチーム医療を提供し、とうや医療福祉グループ内の各施設（平成とうや病院、老健、サ高住、特養など）とも緊密に連携しています。新病院建替え（現在地に 4 年後）に向け整備進行中です。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

趣味は家庭菜園（採れたてスジナシインゲンの天ぷらは超美味）、庭仕事（転倒転落と蜂刺され防止）、映画（最近は Netflix）など、時間があれば小旅行（新緑紅葉の時期に散策、温泉と食事が無我の境地）です。すぐ近くにウォーキングコースを整備した森公園があり週 2, 3 回 1 時間ほど歩きますが、冬の満月（空高く月光も冴え渡る「月天心」というらしい）、夜桜にも感動します。

◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

熊本医療センターは昔から名実ともに県内の中核病院です。前任地（現熊本再春医療センター）でも大変お世話になりました。現在も地域医療支援の一環として消化管内視鏡検査の援助が誠にありがたいです。今後も地域の基幹病院として診療支援、伝統である時間内外を問わない救急対応、人材育成研修などご指導ご支援を継続していただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



【診療科目】

内科、呼吸器内科、循環器内科、脳神経内科、
消化器内科、リハビリテーション科、整形外科

【診療受付時間】

8:30 ~ 11:30、13:00 ~ 16:00

【休診日】

土曜日午後・日曜日・祝日
※第 2・第 4 土曜日は休診

【住所】

〒 862-0950 熊本市中央区水前寺 5 丁目 2-22

【TEL】

096-384-2288

【FAX】

096-385-5171





No. 294

医学シリーズ

耳鼻いんこう科 (No. 12)

最近のトピックス

花粉症について

国立病院機構熊本医療センター
耳鼻いんこう科部長

うえむら
上村
なおき
尚樹



花粉症はアレルギー性鼻炎の一種で、文字通り植物の花粉によって引き起こされます。代表的なものはスギ花粉症ですね。

アレルギー性鼻炎は今や2人に1人が症状を自覚し、我が国では約6000万人、中でもスギ花粉症は約4000万人程度の罹患者がいると言われています。花粉症の治療の柱は抗原除去・回避、薬物療法、アレルギー免疫療法、手術療法の4つです。

①抗原除去・回避

- 外出時に眼鏡、マスクの着用
- 花粉のつきにくい服（表面に凹凸の少ない素材）を着る
- 帰宅したら花粉を払い落とす
- 帰宅したらうがい、※鼻うがい、洗顔をする
- 洗濯物を屋外に干さない
- ※鼻うがいは最近見直されており、薬局でも専用の容器と薬物が販売されています。当院売店でも販売しています。花粉症には特に有効で、新型コロナ感染症にも有効です。

②薬物療法

現在では多く抗アレルギー薬が開発され処方されています。以前は眠くなるなどの副作用がよく見られていましたが、最近は眠くならないものも多くなります。

また初期療法といって、花粉が飛散する前から内服すると、飛散期の症状が緩和されるとのデータもあり、毎年スギ花粉症で悩んでいる方は、1月中旬から抗アレルギー薬の内服を開始するとよいです。その他、点鼻薬、最近では貼付薬もあります。

内服薬は人によって効果が違います。また種類が多いので、ご自分に合う内服薬が必ずあります。その判断時期は2週間です。2週間内服して効果がなければ他の薬に変えたほうがいいでしょう。漠然と同じ薬を内服してはいけません。

また薬物療法は症状を緩和するだけで、治癒することはありません。

③アレルギー免疫療法

アレルギー免疫療法はアレルギー性鼻炎の緩解や治癒をもたらす唯一の治療法です。体質を改善して症状を緩和、治癒していこうという治療です。スギ花粉症に対しては、2014年に舌下免疫療法が保険適用となっています。これは舌の下にスギのエキスの錠剤を1日1回口に含むだけです。3～5年と治療期間が長くなるのが欠点ですが、7～8割が治るといわれています。

④手術療法

薬物療法に抵抗し、鼻腔形態に問題のある、あるいは鼻症状の強い症例では手術が選択されることがあります。例えば鼻粘膜にレーザーを照射してその縮小を図って鼻閉を改善させたり、鼻腔内の骨、軟骨を除去して、その変形を物理的に矯正したりする手術があります。また鼻汁分泌神経を切断して鼻汁を減少させる手術などもあります（が、この手術に関しては長期的に有効かどうかを検証されている途中であり、まだはっきりしてはいません）。

くまびょう TOPICS

8/24 (木) | 令和5年度リハビリテーション
8/25 (金) | 研修(急性期)が開催されました **四**

【筆者】作業療法士：井上直美



令和5年8月24～25日、機構本部主催のリハビリテーション研修がオンライン形式にて開催され、73施設143名の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が参加しました。今回は急性期におけるリハビリテーションについて事前にeラーニングを受講し、当日の研修に臨みました。研修では疾患別のリスク管理、疾患の評価から治療、脳画像を活用したリハビリテーション戦略など様々な分野から講義がありました。今日の講義から得られた知識は、現場で活かせるものが多く、とても有意義なものとなりました。さらに作業療法分野だけではなく、理学療法・言語療法の専門的な分野の知識も得ることができ、これらは今後のリハビリテーション科内での円滑な情報共有や連携につながるものとなりました。

今回学んだ知識を活かし、これからもリハビリテーションを通して、患者様のQOL向上に貢献できるように取り組んでまいります。

【場所】多目的室4



9/6 (水) | 2023 ひとてまワゴンサービス開始! **栄**

【筆者】管理栄養士：岡田郁香



9/6は今年度最初のワゴンサービスの日でした。今年度は月に1回9月から2月までの期間で治療食以外を摂取されている方を対象に各病棟を栄養士がワゴンと一緒に回ります。9月と10月はカスタード・チョコ・モンブランの3種のタルトから好きなものを選んでいただくようになっています。当院調理師が1つずつ丁寧に作成しどれも可愛く仕上がっていました。今回の6西病棟は女性の方が多く栗が旬の時期ということもあり、モンブランが大人気でした。これから毎月続いていくので、入院中の患者様の癒しや楽しみになれば幸いです。

【場所】6西病棟



第29回 国立病院機構熊本医療センター医学会の開催と演題募集のご案内

第29回国立病院機構熊本医療センター医学会が2024年1月20日(土)に国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター大ホールにて現地開催で開催されます。(日時、場所、開催形式については変更になる場合もございます。その場合、当院ホームページ、くまびょうNEWSでお知らせいたします。)

例年通り病院全体の職種が参加し発表します。

開放型病院登録医の先生方や施設のスタッフの方にも是非ご発表頂きたいと演題募集をさせていただきます。

応募方法は演題抄録をe-mailにてご送信下さい。

多数のご参加をお待ち致しております。

抄録提出締切日：2023年11月15日(水)

- 抄録には、演題名、所属、発表者、共同演者、本文を記述して下さい。
- 本文は【目的】【方法】【結果】【総括】、症例報告は【目的】【症例】【経過】【考察】にそって記述して下さい。本文は600字以内にして下さい。
- 図表の使用はできません。半角カナは使用できません。
- 尚、発表は原則としてPCで、使用ソフトはパワーポイントで作成したものに限りです。
- 発表時間は6分、討論3分です。
- 参加費は無料です。

お問い合わせ・送付先：〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号

国立病院機構熊本医療センター医学会運営

臨床研究部長 富田正郎

事務局 高橋和恵

TEL:096-353-6501 FAX:096-325-2519 E-mail:takahashi.kazue.ck@mail.hosp.go.jp

Medical Intern Report 研修医レポート

臨床研修医

えいなが ゆうだい
榮永 悠大



こんにちは。研修医1年目の榮永悠大と申します。4月より熊本医療センターで初期臨床研修を開始して早5ヶ月が経過としております。

私はまず糖尿病・内分泌内科から研修が始まりました。最初はカルテの書き方、処方の方、各種オーダーの入れ方等覚えることの連続で至らない部分も多々ありましたが、先生を始め、スタッフの方々に優しく丁寧に些細なことまで教えていただくことで、日々の業務に少しずつ慣れることができ、充実した研修生活を送らせていただいております。

その後、救急外来、産婦人科、小児科を回らせていただき、最初は新しいことの連続で自分の無知、無力さを痛感することも多かったのですが、非常に多くの経験の機会を頂き毎日多くの知識やノウハウを学習しています。一番後輩である今、疑問を解消し続け、毎日の学びや経験を忘れず一歩ずつスキルアップしていけるよう努力していこうと思います。

この日々の研修に加えて、週1回程度救急外来の当直も参加させていただいております。まだ不慣れな点多々あると思いますが、指導医の先生方、研修医2年目の先生方、スタッフの方々にご指導いただきながら救急初療について勉強させていただいております。このような緊張感のある、非常に学びの多い現場を経験させていただき、この環境に身を置くことを非常にありがたく感じております。

また同期にも日々の研修を通じて多くの刺激を受け、自身の改善点に気づく機会も多くありモチベーション高く研修に励むことができています。まだまだ至らない点多く、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、皆様のお役に立てるように2年間の研修医生活でより多くのことを学び精進して参りたいと思っております。2年間何卒よろしく申し上げます。

臨床研修医

ふくもと たかひろ
福本 能大



こんにちは。研修医1年目の福本能大と申します。熊本大学医学部を卒業し、4月より熊本医療センターで初期臨床研修を開始して4カ月が経過としております。

私の研修は、初めに血液内科、次に糖尿病・内分泌内科と内科系の診療科から始まりました。初めはカルテの使い方も分からず、多くの先生方に助けられながら日々の診療業務を行いました。慌ただしくも日々の診療に努めておりますと、治療計画のための検査の組み立て方や、検査データと身体所見の関連性など、少しずつ診療について分かることが増えてきて、非常にやりがいを感じながら研修をさせていただいております。

そして7月からは麻酔科の研修が始まりました。麻酔科では、内科系の診療科とは方向性が大きく異なり、気管挿管・静脈路確保・脊髄も皮下麻酔など様々な手技を経験させていただいております。初めは医療器具の扱いに慣れず苦戦しましたが、指導医の先生が丁寧に指導して下さり、回数を重ねることで自信が持てるようになりました。またバイタル管理のための薬剤のコントロールや輸液の調整など、医師として基盤となる技術についても学びを深めております。

また、麻酔科では手術前に患者さまの全身状態を把握するため、ルーティンで術前に情報収集と診察を行っております。様々な症状の患者さまを診察させて頂くため、幅広い診療科の知識が身につく、救急外来での当直業務にも活かせる部分が多くあります。

医師として勤めてまだ4カ月で、3つの診療科の研修を経てようやく日々の診療に必要なスキルが少しずつ身についてきたような実感があります。まだ慣れないことが多く、ご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、日々学び、より優れた医師になれるように精一杯努めて参ります。2年間どうぞ宜しくお願いいたします。

臨床研修医

なかむら ようへい
中村 洋平



こんにちは。研修医1年目の中村洋平と申します。鹿児島大学医学部を卒業し、4月より熊本医療センターにて初期研修をさせていただいております。初期研修がスタートしはや5ヶ月が経過としております。

私は救急救命科から研修をスタートし消化器内科、循環器内科、外科と研修させていただいております。カルテの使い方には始まりとにかく何もわからない状況からスタートしましたが、指導医の先生をはじめ各科の先生方から大変親切で温かいご指導をいただき、充実した研修を送らせていただいております。また、各科回らせていただ

いております間、皆様に多くのご迷惑おかけし、フォローいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

4つの診療科を回らせていただき、各診療科の先生方が患者さまそれぞれに対して必要な治療を選択され、それによって患者さまの状態も良くなり、元気になって退院される様子を共に診させていただきました。患者さまの利益のためにも1日でも早く先生方に近づけるよう努力を続けていく所存でございます。

また、今までの5カ月間を振り返り最も感じることは、チーム医療の大切さです。患者さまのためにそれぞれの職種が協力し合っているからこそ、熊本医療センターでは高度な医療を提供していくことが出来ているのだと日々痛感致しております。

これからも様々な科で研修していく中で皆様に数多くのご迷惑おかけする事もあるかと存じますが、たくさんのごことを吸収し、患者さまの役に立てよう精進して参ります。2年間どうぞよろしく申し上げます。

2023年10月 研修のご案内

第64回 熊本摂食・嚥下 リハビリテーション研究会

日時▶10月3日(火) 19:00～21:00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「認知症の方の嚥下障害(2)」

二の丸モーニングセミナー

日時▶10月5・12・19・26日(木) 8:15～8:45
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

熊本県臨床衛生検査技師会 一般検査研究班月例会【WEB】

日時▶10月12日(木) 18:30～20:30

第51回 ナースのための 心電図WEBセミナー【WEB】

日時▶10月14日(土) 10:00～14:30

〈講演1〉心電図の基礎

国立病院機構熊本医療センター循環器内科部長 田山 信至

〈講演2〉各種心疾患における心電図

国立病院機構熊本医療センター診療部長 藤本 和輝

〈講演3〉不整脈

すえふじ医院 院長 末藤 久和 先生

第295回 月曜会(内科症例検討会) 〔日本医師会生涯教育講座1.0単位認定〕

日時▶10月16日(月) 19:00～20:00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室2

1 血液内科からの一例 2 総合診療科からの一例

小児科火曜会【WEB配信あり】

日時▶10月24日(火) 19:00～21:00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室1

熊本県臨床検査技師会・ 病理細胞部門

日時▶10月26日(木) 18:30～20:00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

第65回 診断と治療-最新の基礎公開講座- 〔日本医師会生涯教育講座2.5単位認定〕

日時▶10月28日(土) 15:00～17:30
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「パンデミックからの学びと備え」

座長 熊本大学大学院生命科学研究部小児科学講座特任教授 三淵 浩 先生

1 一般病院での学びと未曾有の感染症への備え：一般重症患者における診療から

国立病院機構熊本医療センター感染症内科部長・国際医療協力センター長 小野 宏

2 がんセンターでの学びと未曾有の感染症への備え：がん、免疫抑制状態の患者における診療から

愛知県がんセンター感染症内科部長・感染対策部感染対策室長 伊東 直哉 先生

3 世界的視野における学びと未曾有の感染症への備え：Disease X(新興再興感染症)へのアプローチ

国立国際医療研究センター国際感染症センター医員・薬剤疫学室主任研究員 石金 正裕 先生

研修へのお問い合わせはこちら
国立病院機構熊本医療センター
地域医療研修センター (096) 353-3515 (直通)

研修センター
QRコード▶



患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565 096-353-6566

FAX 096-353-6563



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明

令和5年10月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	
	血液	河北 敏郎 杉谷 浩規	原田 奈穂子 中村 真久	古川 翔大 井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志 (午前新患) 西田 周平 (午前再診)	西田 周平 (午前新患) 西川 武志 (午前再診)	西川 武志 (午前新患) 井手口 拓弥 (午前再診)	木下 博之 (午前新患) 最勝寺 博之 (午前再診)	井手口 拓弥 (午前新患) 木下 博之 (午前再診)	
	呼吸器センター	名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師 (院内コンサルト)	小野 宏 原 英記 (院内コンサルト)	名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 原 英記 (院内コンサルト)	
	感染症内科		小野 宏	小野 宏		小野 宏	
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	東 大樹	富田 正郎	
	腫瘍内科		榮 達智	榮 達智 磯部 博隆	境 健爾 (第1・第3・第5木曜のみ)	榮 達智	
消化器病センター (消化器内科)	診察	1 診	石井 将太郎	杉 和洋	杉 和洋	向坂 健佑	
		2 診	松山 太一	中田 成紀	石井 将太郎	中田 成紀	
		3 診	山本 祐弥	向坂 健佑	佐々木 大亮	楠本 周平	佐々木 大亮
	内視鏡	午前	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮	松山 太一 佐々木 大亮 山本 祐弥	山本 祐弥 山本 祐弥 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑 向坂 健佑	石井 将太郎 山本 祐弥 山本 祐弥
		午後	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮 楠本 周平	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥 楠本 周平	中田 成紀 松山 太一 山本 祐弥 楠本 周平	中田 成紀 石井 将太郎 向坂 健佑 佐々木 大亮	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥
		腹部超音波	杉 和洋	楠本 周平	向坂 健佑	山本 祐弥	杉 和洋
	心血管センター (循環器内科)	新患	木村 優一 山村 智	奥野 佑樹 (隔週) 玉野井 俊介 (隔週)	片山 哲治	田山 信至	藤本 和輝
再来		田山 信至	藤本 和輝	山村 智	奥野 佑樹 玉野井 俊介 白尾 友宏	片山 哲治 木村 優一	
(心血管外科)		手術日	岡本 健	田中 睦郎	手術日	岡本 健	
精神・神経科	初めの方						
	2回目からの方						
小児科	診察	水上 智之	渡邊 優	水上 智之	水上 智之	渡邊 優	
	免疫	水上 智之		水上 智之	水上 智之		
	血液	石田 昌宏		横山 智美		右田 昌宏	
	アレルギー		渡邊 優		緒方 美佳		
外科	東 孝曉 日高 香織 (隔週)	水元 孝郎 松本 克孝 中村 健一		岩上 志朗	宮成 信友 松石 梢	久保田 竜生 丸野 正敬	
脳神経センター (脳神経外科)		中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	田嶋 恒三 大塚 忠弘	中川 隆志	伊東山 剛 大塚 忠弘	
	1 診	幸崎 弥之助	田北 智裕	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	
2 診	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	幸崎 弥之助	田北 智裕		
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平	手術日	福元 哲也 前田 智 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦	
	午後	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平		大島 慶久		満瀬 葉介 中馬 東彦	
泌尿器科	前田 喜寛 矢野 大輔	菊川 浩明 鮫島 智洋 村上 栄敏	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 矢野 大輔 東 俊之介	高橋 菊川 浩明 えりか / 担当医		
産婦人科	高木 みか 瀬尾 優太郎	山本 直 坪木 純子	手術日	高木 みか 瀬尾 優太郎	山本 直 坪木 純子		
感覚器センター (眼科)	榮木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 幸野 理久 中西 美穂		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 寺田 夕希	手術日	担当医	上村 尚樹 寺田 夕希		
感覚器センター (皮膚科)	初診 (紹介あり)	中原 智史	牧野 公治	石橋 卓行	担当医	哈 斯塔 (ハスタ)	
	再診 (初診 その他)	中原 智史 石橋 卓行	牧野 公治 哈 斯塔 (ハスタ)	中原 智史 石橋 卓行	担当医 (手術日)	牧野 公治 哈 斯塔 (ハスタ)	
難治性皮膚疾患治療センター	月・水・木のみ、午前10時～、1日1例限定 詳細は、熊本医療センター皮膚科 Web サイトをご覧ください。						
形成外科	(午後)	大島 秀男 (リンパ浮腫外来)	(午後)		(午後)	(午後)	
	東野 哲志 堺 菜穂 蓮田 敏也	担当医 (紹介のみ)		手術日	大島 秀男 東野 哲志 堺 菜穂 蓮田 敏也	大島 秀男 堺 菜穂 蓮田 敏也	
放射線科	治療 (予約制)	富高 悦司、吉村 文博					
	画像診断	根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、神戸 あゆみ、吉村 文博、吉松 俊治					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察 / 麻酔相談)					(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)	
緩和ケア外来	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆		
歯科 口腔外科	中島 健 谷口 広祐 天本 晋輔 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 (隔週) 中尾 美文 天本 晋輔 (隔週) 上田 夏野	谷口 広祐 中尾 美文 天本 晋輔 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 天本 晋輔 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 天本 晋輔		
	櫻井 聖大 渋谷 崇行 橋本 聡 松本 克孝 國友 耕太郎 吉村 文孝 深水 浩之 杉野 大樹 寛之	櫻井 聖大 橋本 聡 橋本 克孝 久保崎 順子 深水 浩之 杉野 大樹 寛之	櫻井 聖大 渋谷 崇行 橋本 聡 松本 克孝 深水 浩之 木村 文彦 杉野 大樹 寛之	櫻井 聖大 渋谷 崇行 橋本 聡 松本 克孝 深水 浩之 杉野 大樹 寛之	櫻井 聖大 渋谷 崇行 橋本 聡 深水 浩之 宮内 大介 杉野 大樹 寛之		
看護外来	ストーマ	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
	がん看護	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
	移植後フォローアップ	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	

(注) 担当医は都合により変更することがあります。 手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R5/10/1